

第1回三田市教育委員会点検・評価委員会 会議録

- 日 時：令和2年7月2日（木） 14：00～16：15
- 場 所：三田市役所南分館6階 601A会議室
- 出 席：大久保委員、大東委員、藪田委員
- 事務局：鹿嶽教育長、松下学校教育部長、外岡学校教育部長、浅野教育総務課長、上野教育総務課担当課長、山本学校教育課長、山口教育支援課長、村岡教育研修所長、廣瀬学校給食課長、久後幼児教育振興課参事、鈴木教育総務課主任、松田教育総務課指導主事
- 傍聴者：1名

1 開会

2 教育長あいさつ

みなさま、こんにちは。

平日のお昼の時間帯にも関わらず、またお忙し中、ご出席いただきありがとうございます。

また、日頃は、三田市の教育の推進にご協力いただきありがとうございます。

さて、昨年度の3学期から、新型コロナウイルス感染対策において、子どもたち自身もこれまで経験したことない長期の臨時休校でありました。外出自粛など色々なストレスをかかえながら、また学校生活に不安を抱えながら、家庭の中で過ごされたのではないかと思います。

緊急事態宣言も解除され、6月1日から分散登校、6月15日から全面再開ということで給食も含め再開をしました。

長期休業の中で、遅れている学習の取戻しも必要ですが、子どもたちの心の不安について、充分ケアしながら取り組んでいかなければならないと思っております。

本日は第2期の教育振興基本計画に基づく、令和元年度の事業について、委員のみなさまに評価いただき、その評価をもとにこれからの三田の教育のあり方について改善しながら、また新たなPDCAサイクルで回していくこととなります。

委員のみなさまには、膨大な資料を限られた時間内で評価いただくことになり、大変ご苦勞をおかけしますが、夢に向かって歩いていく子どもたちをみなさまと一緒に作り上げていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願い申しあげまして、私からのあいさつとさせていただきます。

3 会議の公開

- ・公開とする

4 委員紹介

- ・委員紹介

5 委員長選任・委員長あいさつ

- ・委員長は、大久保委員長に決定
- ・委員長あいさつ

6 議事

(1) 「令和2年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書（令和元年度事務対象）」（素案）について

- ・素案説明（各担当課）、質疑応答（質疑応答の詳細についてはP 3～P 7）

(2) 「点検・評価委員の意見」の記載について

- ・（資料1） 資料説明
- ・各委員に7月17日（金）までの提出を依頼。

(3) 今後の日程

令和2年8月7日（金） 午後2時00分から

7 閉会あいさつ

8 閉会

**【前年度の点検・評価委員の意見と意見に対する取組（報告書P 5～P 6）
事務局から説明後、質疑応答】**

大東委員 コミュニティ・スクールの取り組みについて、教育委員会と健やか育成課が合同で取り組んだ研修会の開催など、市長部局と連携を取りながら進められていると思う。

しかし、学校によって温度差があり、形だけコミュニティ・スクールの数を増やしても中身が伴っていないのではないか。

また、資料には三田型のコミュニティ・スクールについて記載がないが、三田市として、文部科学省の示すコミュニティ・スクールに移行するのか。

三田型のコミュニティ・スクールについて、今後どのように検証していくのかお聞きしたい。

山本課長 各校のコミュニティ・スクールについては、学校によって差が出ていることは担当課としても把握しているところである。

より進めていくために、昨年度から担当指導主事が、積極的に各校のコミュニティ・スクールの会に参加し、やり方を広めていく取組を進めている。

三田型のコミュニティ・スクールについては、引き続き、全ての学校で実施するように取り組む。

今年度の取組について、昨年度健やか育成課と一緒に研修を実施し、前に進めている矢先に、コロナでなかなか前に進まないのが現状である。今後どのような形で、事業を進めていくか検討中である。

大東委員 三田型のコミュニティ・スクールを進めていくことで、文部科学省は認めてくれるのか。

外岡次長 文部科学省のコミュニティ・スクールの数にカウントはされないが、文部科学省のコミュニティ・スクールと三田型のコミュニティ・スクールについては、実質やっていることは一緒である。

大東委員 予算なども、今までと変わりなくもらえるのか。

山本課長 県に確認したが、予算がもらえないということはないと回答を得ている。

おおむね三田型を維持しながら進める。

【基本施策1・2（報告書P 15～P 25）事務局から説明後、質疑応答】

大東委員 市立幼稚園の再編計画についてどのように計画しているのか。また具体的にどのように検討を進めるのか。

久後参事	現在、市立幼稚園は小規模化が著しく、育ちに必要な集団保育が確保できない現状がある。また多様な保育ニーズに対応できていない課題もある。その課題を解決するために、再編計画の策定に向けて検討をしている。預かり保育についても、実施している回数は違うが、週5日実施に向けて、再編計画の中で検討をしていく。
大久保委員長	再編計画を検討中ということは、市立幼稚園の合併を考えているということなのか。
久後参事	認定こども園化も踏まえて検討している。
大東委員	三田・三輪幼稚園は、合併する必要はないと思うが、合併する予定はあるのか。
久後参事	計画の中で10園全体について検討を進める。
大東委員	計画は何年度に決まるのか。
久後参事	6月議会の中で質問もあったが、今年度の上半期には計画を案として出していく予定である。
大久保委員長	再度の確認になるが、三田も三輪も再編計画の中に入ってくるということによいか。
鹿嶽教育長	公立幼稚園の再編については、現在検討しており、幼稚園10園全体の中で、どのように再編するかについて検討している。そのため、どこの幼稚園が合併する等は今、言及することができないのでご理解いただきたい。
大久保委員長	今年のトライやる・ウィークはどうなるのか。
山本課長	時期の延期、さらに実施を縮小し、通常の5日間から1日のみの実施となる予定である。
大東委員	今年度の自然学校は実施するのか。
村岡所長	宿泊なしの2日間で実施する。時期は9月以降の実施を検討している。

藪田委員	ICTの機器を使った授業をした教職員の割合について、機器を使っただけの割合なのか、機器を活用した授業を実施した割合ということか。
村岡所長	基本的に授業で使うということは、機器を活用することも含まれている。
大久保委員長	2 in 1 ノートパソコンとはどのようなものか。
村岡所長	画面とキーボードが分かれて、画面部分をタブレットとしても活用できるものである。
大東委員	コロナ対応の中、オンライン授業におけるパソコンの広がり（子どもたちに一人1台配備することなど）は進んだのか。
村岡所長	GIGA スクール構想では、一人1台の整備について令和5年を目標に進めると昨年の12月に発表された。今年度については、3学年分の無線LANの整備を実施する予定であったが、コロナ対応の中で、全学年分を整備する予定である。
藪田委員	今後、自粛により休校となった場合、一人1台のタブレットを持ち帰って授業することになるのか。
村岡所長	そのように計画している。すべてに配備されるまでには時間がかかるため、今後休校になった場合、学校や家庭のタブレットも活用しながら進めていく。現在、モバイルルーターの購入も進めている。
	【基本施策3・4（P26～41）事務局から説明後、質疑応答】
藪田委員	学校司書の配置について、全小学校に学校司書を配置したとあるが、中学校には配置されていない理由は何か。
村岡所長	学校司書について、中学校に配置していた時期もあるが、読書活動の基礎を培うという中で、まずは小学校を充実させるため、全ての小学校に配置した。今後、全中学校にも配置することを目標に、検討を進めていきたい。
大東委員	「学びのユニバーサルデザイン化」とはどのようなことか。
山本課長	学校教育の現場において、支援が必要な子どもに対して、当たり前支援をしてくために、ルール化、規格化をし、子どもたちの戸惑いを少なくする取組である。例えば全学年において黒板に書く色を統一することや、掲示の仕

	方を統一する取組などがある。小学校だけでなく、小中一貫した取り組みを進めていきたい。
大久保委員長	県の「ひょうごがんばりタイム」は廃止され、「ひょうごがんばり学びタイム」として新たに事業が実施されることとなったとあるが、事業が拡充されたということか。
村岡所長	「ひょうごがんばり学びタイム」として新たに事業が実施されることとなったが、三田市としては、これまで通り「がんばりタイム」としてこれまでの事業を継続した取り組みを進める。
大久保委員長	今年は、長期休業が短くなるが、代替への対応はあるのか。
村岡所長	今年度はコロナの影響をうけて、夏休みが短縮される。これを受けて、国や県の補助を受けながら、学習指導員の配置を予定している。
大久保委員長	学習指導員は確保できるのか。
村岡所長	各校でお世話になっている「がんばりタイム」の方などにもお願いをする予定である。教員免許の有無は問わないので、地域人材も活用し、幅広く呼び掛けていきたい。
大久保委員長	人権教育の充実について、若手教員に三田で培ってきた同和教育の実践や教師の姿勢を伝えていくことが課題であると記載があるが、どのような課題解決を考えているのか。
山本課長	教頭研修会において、課題意識を共有し、若手職員の育成という点において、課題を伝え、積み重ねを支援していくことを実施した。
大久保委員長	これまでの研修資料なども活用しながら、ぜひ若手職員の人権意識の高揚をお願いしたい。
	【基本施策5・6（P42～55）事務局から説明後、質疑応答】
大東委員	給食でアレルギー対応しているのであれば、イスラム教のように外国にルーツを持つ子どもたちへの対応について、学校給食としてどのように考えているか。

廣瀬課長	食物アレルギーの対応について、国の方針に基づき、三田市では、安全性を最優先し、原則、医師の診断に基づき、「食べる」「食べない」の2者選択である。保護者の要望もあるが、食べない場合はお弁当の持参をお願いしている。約1万食の大量調理をしている中で、更に、宗教での除去は困難であり、個別対応ができない状況である。
大東委員	生活保護世帯の子どもや自立相談支援機関における生活困窮者の子どもたちに対し、塾を開く募集などを行っているが、教育委員会は関わっているのか。
外岡次長	情報共有はしているが、教育委員会が直接関わっているわけではない。市役所全体の中で進めているので、今後、具体的に学校とのすり合わせが必要な場合、対応していく。
大久保委員長	認知しているいじめは解決しているのか。指導はどうなのか。
山本課長	指導が長期化している事例はない。
【基本施策7・8・9（P56～78）事務局から説明後、質疑応答】	
大久保委員長	小中学校の適正化について、意見が分かれているのではないかと。
浅野課長	地域や保護者によって、とらえ方がさまざまである。それぞれの思いを聞きながら進めていきたい。
大久保委員長	他に意見はあるか。 今後は、事務局より提案いただいた方向でまとめさせていただくことにより、よろしくお願いする。

＜閉会＞